



高 浜 町 の 児 童 ・ 生 徒 の 学 力 や 生 活 習 慣 は ？

【高浜町教育委員会】

●調査概要

- 調査実施日 令和8年4月23日(木)
- 実施人数 小学校6年生 66名／中学校3年生 72名
- 実施教科 【小学校】国語、算数 【中学校】国語、数学、英語

※調査結果について 教科や出題範囲が限られていることから、本調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部分です。

教科に関する調査結果概要および傾向

【小学校】

- 小学校は、国語、算数の調査を行いました。福井県は、2科目とも正答率が全国平均を上回っています。本町においては、国語については全国平均を上回っており、算数については全国平均を下回っており、算数が今後の課題とされます。

教科ごとの傾向

○…良好と考えられること △…課題と考えられること

国 語

- 考えとそれを支える理由や事例などの情報と情報の関係について理解する
- 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する
- △相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考える
- △話や文章の種類とその特徴について理解する

算 数

- 少数が整数と同じ十進位を取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う少数をつくれる
- 示された二つの表から、集計に誤りがある項目を見つけ、その根拠を表の中の数字と言葉を用いて記述する
- △百分率で表された割合と比較量から、基準量を求める
- △基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶ

【中学校】

■中学校は、国語、数学、英語の調査を行いました。福井県は、3科目とも正答率・集計値が全国平均を上回っています。

本町においては、国語と数学は全国平均とほぼ同じですが、県平均は下回っています。英語については「IRTスコア」で表しましたが、全国値、福井県値どちらも下回っています。

教科ごとの傾向

○…良好と考えられること △…課題と考えられること

国 語

- 表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすこと
- 助動詞の働き、単語の活用について理解する
- △目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討する
- △目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する

数 学

- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読みとる
- 総合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明する
- △2直線が平行になるための条件を理解する
- △事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てる

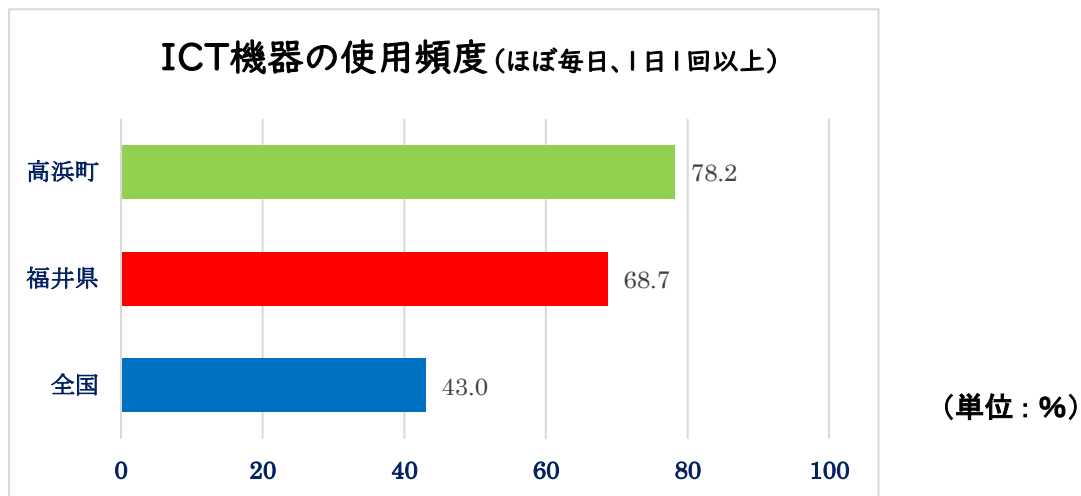
英 語

- 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して聞く
- 日常的な話題について、短い文章を読み、必要な情報を読み取ったり、概要を捉える
- △音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して読むこと
- △話すこと

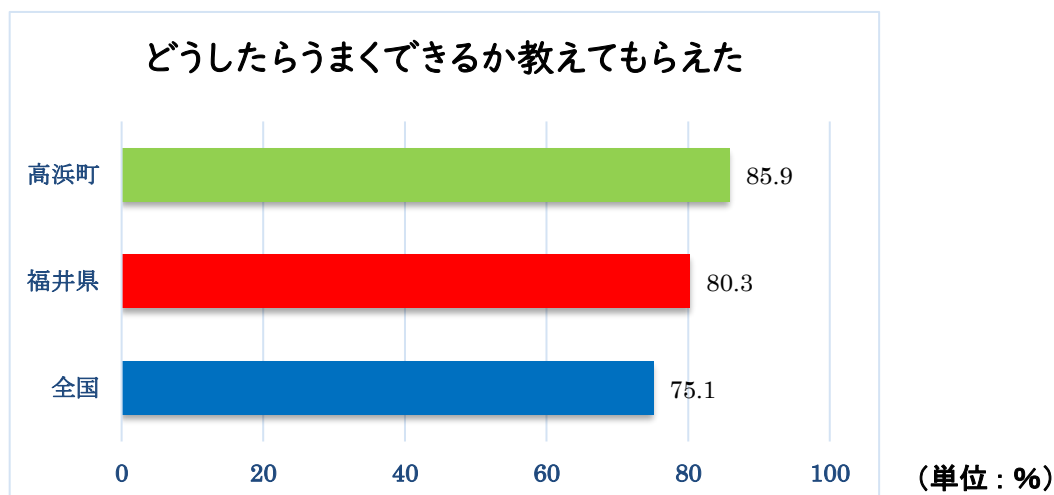
小学生

○…良好と考えられること △…課題と考えられること

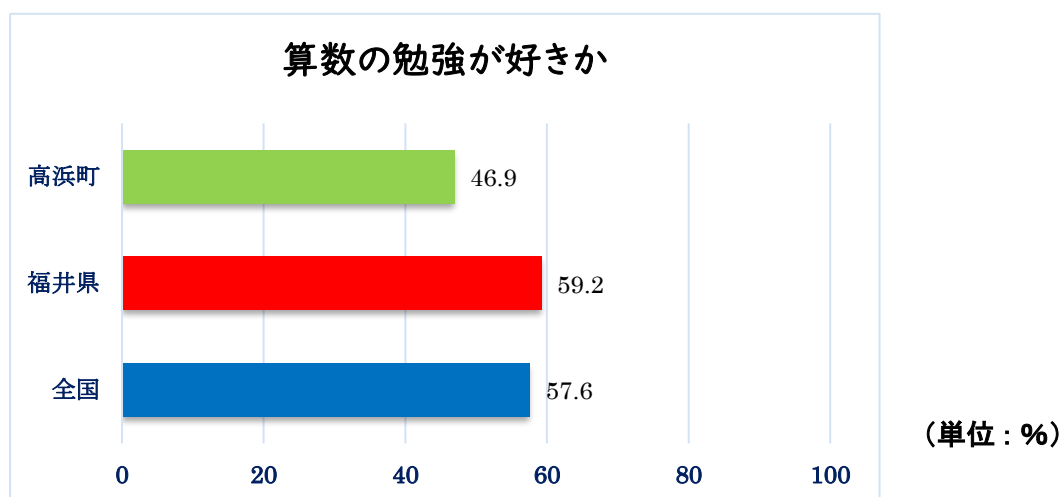
○「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という問いに対して「ほぼ毎日、1日1回以上使用した」と答えた児童の割合は、高浜町は全国平均、県平均共に大きく上回っています。学校での授業等におけるICT使用率が高いことが分かります。



○「5年生までに受けた国語の授業で、先生は、あなたが学習でうまく出来ていないところを伝え、どうしたらうまくできるようになるか教えてくれましたか」という問いに対して「教えてもらった」と答えた児童の割合は、高浜町は全国平均も県平均も上回っています。高浜町の児童は、先生方から出来ない所について説明の上、十分な指導を受けていることが見受けられます。それが今回の学力調査での国語の成績につながったと考えられます。

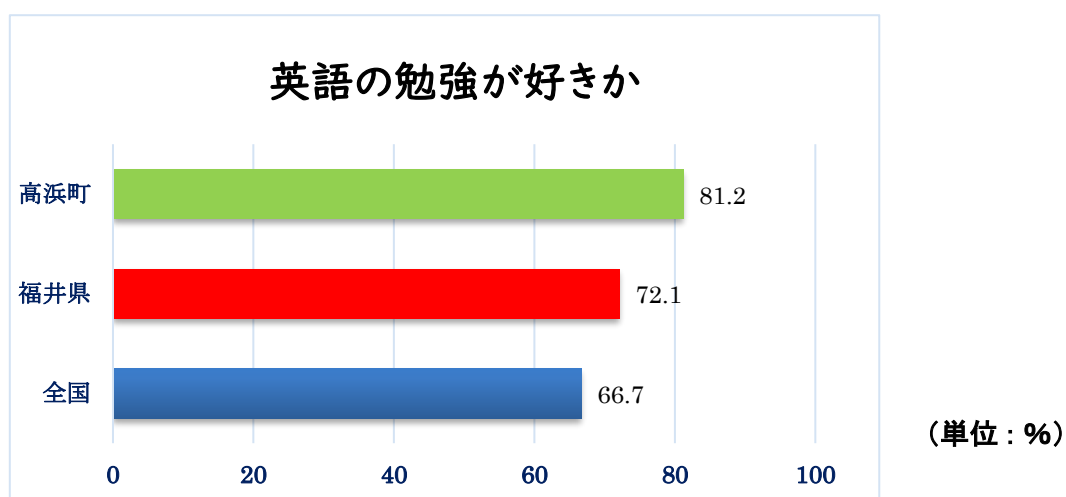


△「算数の勉強は好きですか」という問いに対して「好きだ」と答えた児童の割合は、高浜町は全国平均も県平均も約10～12%下回っています。同様に「算数の勉強は得意ですか」という設問も全国平均、県平均から同様の割合で下回っており、高浜町では「算数が嫌い」であり「算数が苦手」な児童が多いと言えます。「好きこそものの上手なれ」という言葉ではありませんが、この設問の結果が今回の学力調査の結果にもつながっているのではないのでしょうか。

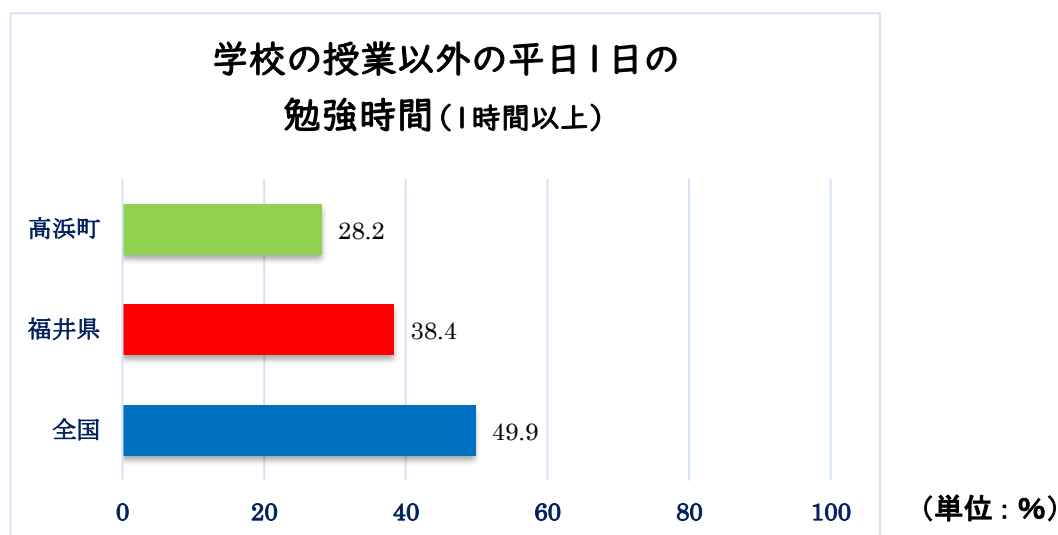


○「英語の勉強は好きですか」という問いに対して「好きだ」と答えた児童の割合は、全国平均も県平均も上回っています。特に全国平均と比べて約15%上回っています。

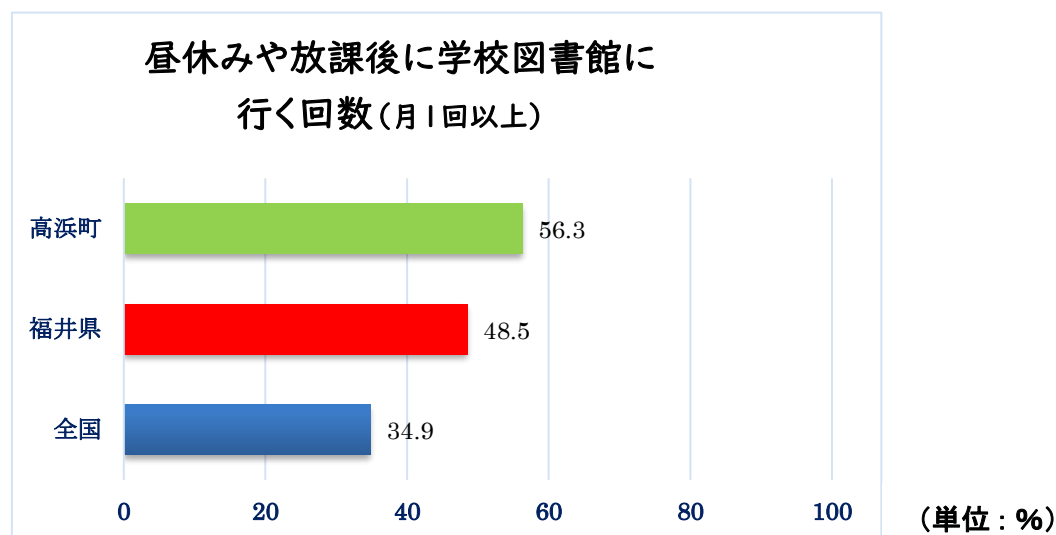
高浜町の小学校には町雇用のALTが配置されています。また、学校だけでなく保育所や放課後児童クラブでも活動しておられるため、幼い時から日本語以外の言語に自然に接する機会が多く、抵抗なく楽しみながら英語の勉強をできているのではないのでしょうか。



△「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」という問いに「1時間以上している」と答えた児童の割合は全国平均も県平均も下回っています。同様に「土曜日や日曜日など学校が休みの日にどれくらい勉強をしますか」についても「2時間以上している」と答えた児童の割合も全国平均、特に県平均とは僅差で下回っています。学校以外の場での学習の習慣を身につけていくことが大切なようです。

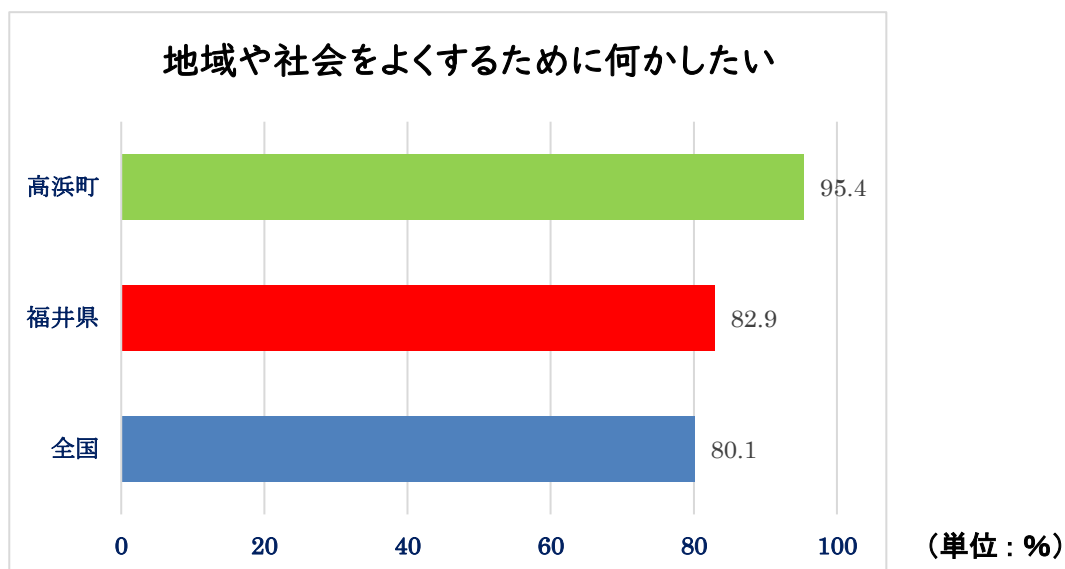


○「昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために学校図書館・学校図書室（電気図書館を含む）にどれくらい行きますか」という問いに「月に1回以上は行く」と答えた児童の割合は、全国平均も県平均も上回っています。特に全国平均とは約22%上回っています。高浜町では各学校に中央図書館から図書館支援員が週1回の割合で派遣され各学校に在籍しています。本を読むことは、語彙量を増やし表現力を豊かにします。それらの力はこれから成長する中で自分の考えを伝えるという場面で必ず役に立ち、また必要な力になると思います。



○「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という問いに対して「してみたいと思う」と答えた児童の割合は全国平均、県平均ともに上回っています。以前より高浜町の児童はこの設問に対する「何かしてみたい」という意識が高い割合を示している傾向にあります。

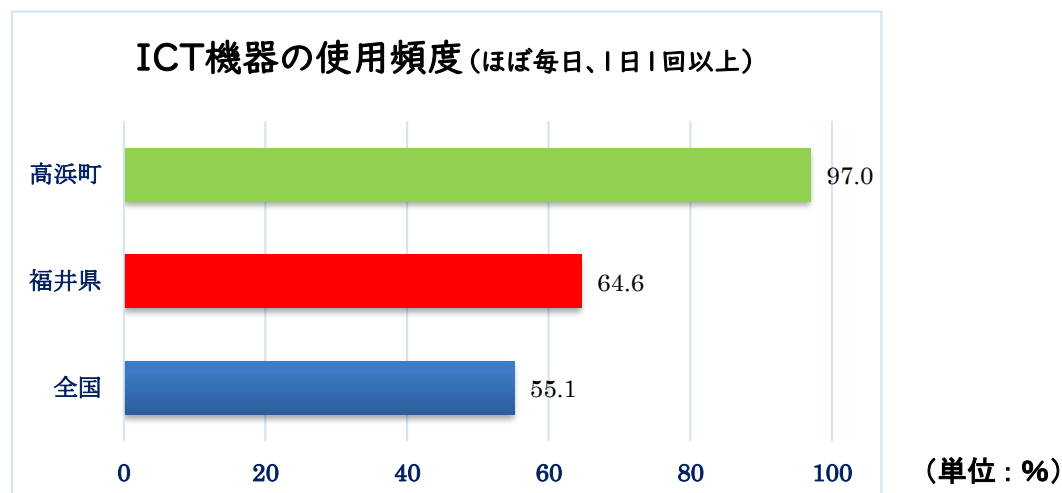
「総合的な学習」等の時間を通じて地域の方と交流を持ち、自分の住んでいる地域のことを知ることで、より、「何かしてみたい」という意識を持つ児童が増えたのではないかと考えられます。



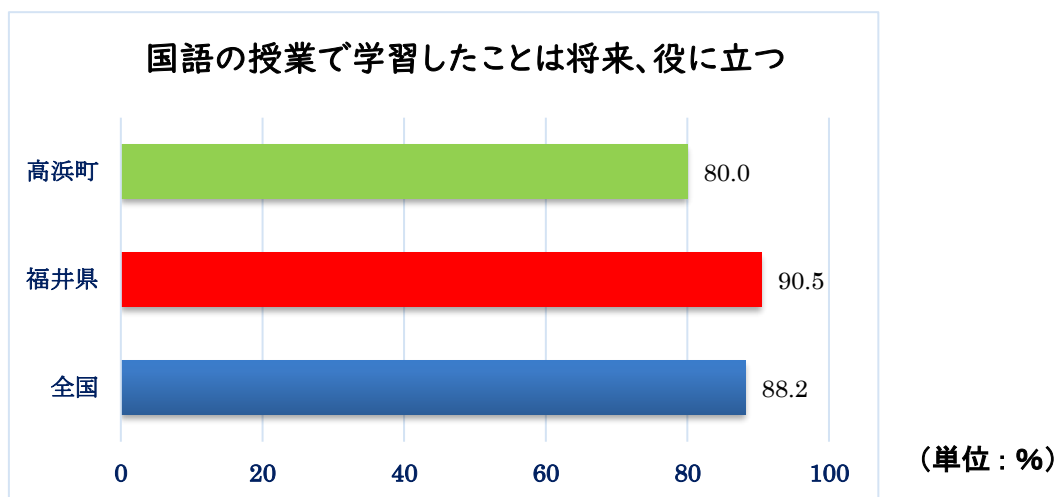
中学生

○…良好と考えられること △…課題と考えられること

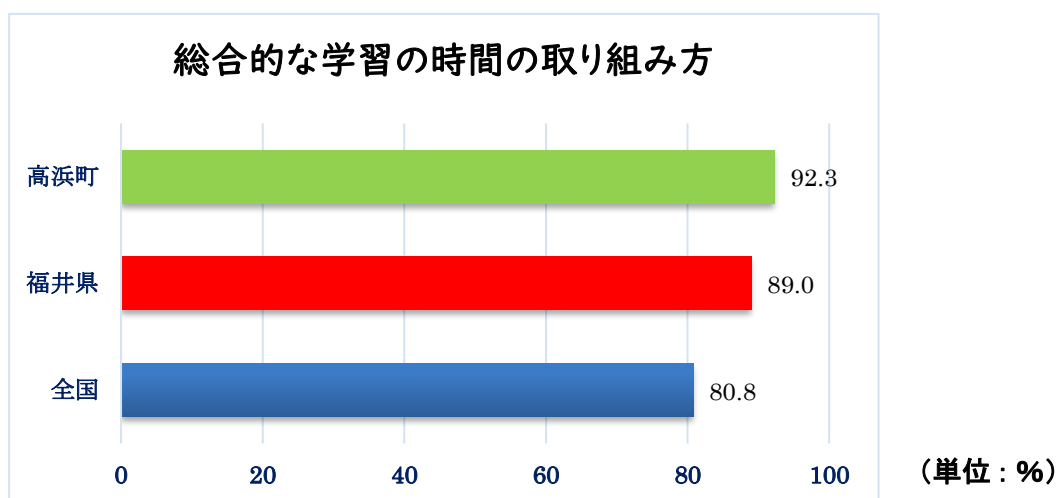
○「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という問いに「ほぼ毎日、1日1回以上」と答えた生徒の割合は、全国平均も県平均も上回っています。小学校と同様に、タブレットの全児童生徒への配付に伴い学校での授業等におけるICT使用率が高いことが分かります。



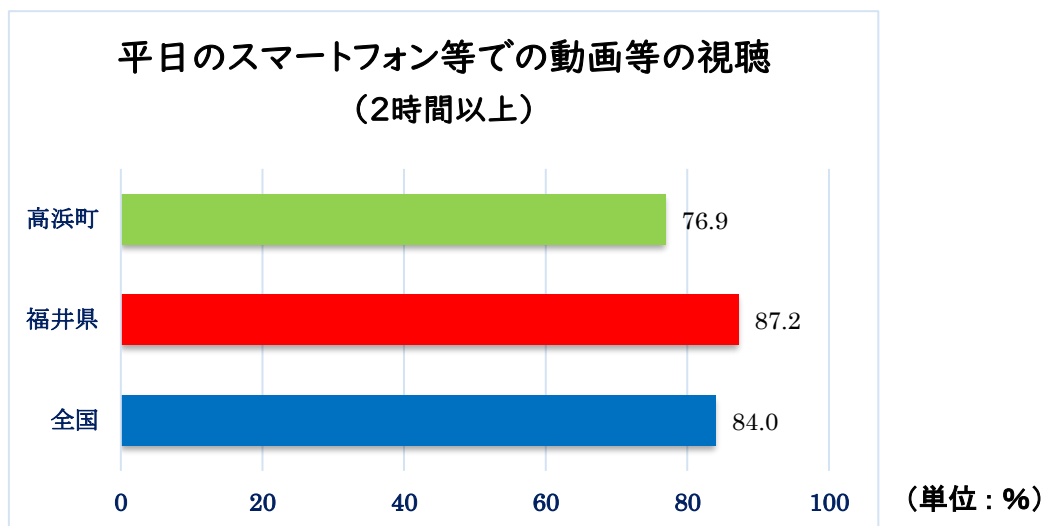
△「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という問いに「役に立つ」と答えた生徒の割合は、全国平均も県平均も下回っています。どれだけ私たちの生活や仕事の中でICT機器の利活用が進んだとしても、それまでに国語の授業で学んだことは必要になると思います。「書くこと」の領域での正答率は全国平均、県平均から上回っているのですが、「与えられた情報を用いて、相手に分かりやすく伝える」ことを、より実践していくことが必要だと思います。



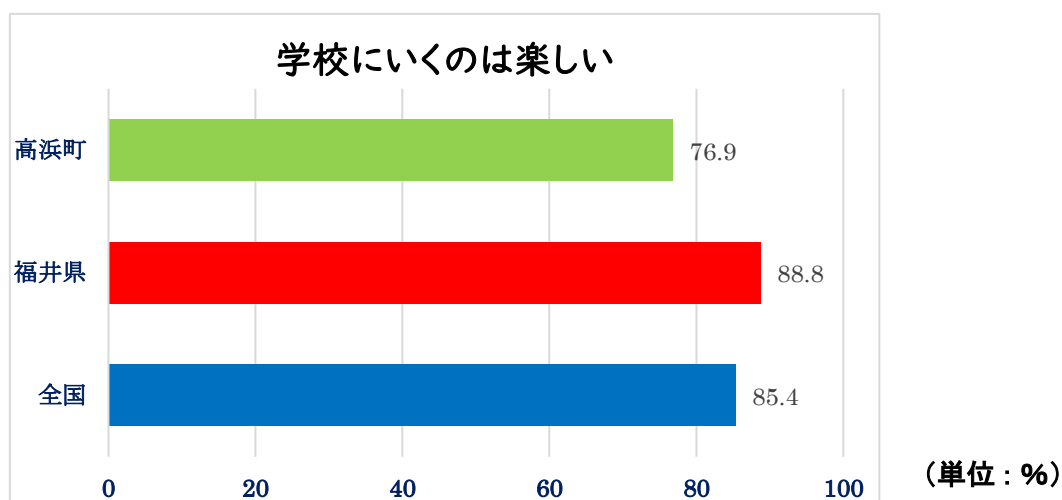
○「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」という問いに「取り組んでいる」と答えた生徒の割合は、全国平均も県平均も上回っています。特に全国平均との比較では約12%も上回っています。小学校から継続的に続けている「総合的な学習」の時間の取組みの中で、問題提起からの一連のプロセスを行う力がついていることが分かります。



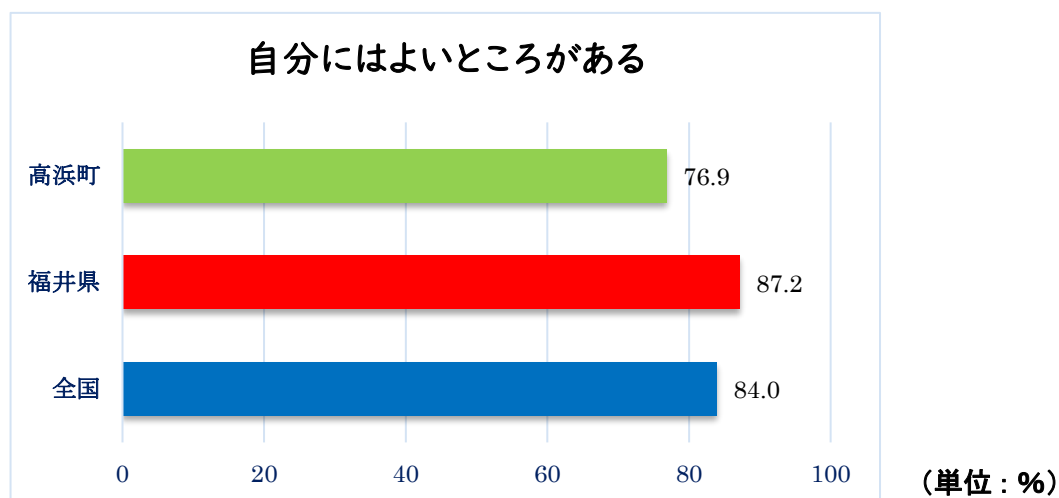
△「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）」という問いに「2時間以上」答えた割合は、全国平均も県平均も上回っています。高浜町では今年度から、子ども自身がメディアとの付き合い方を考える「メディアコントロールデー」の取り組みを広めていきたいと計画しています。



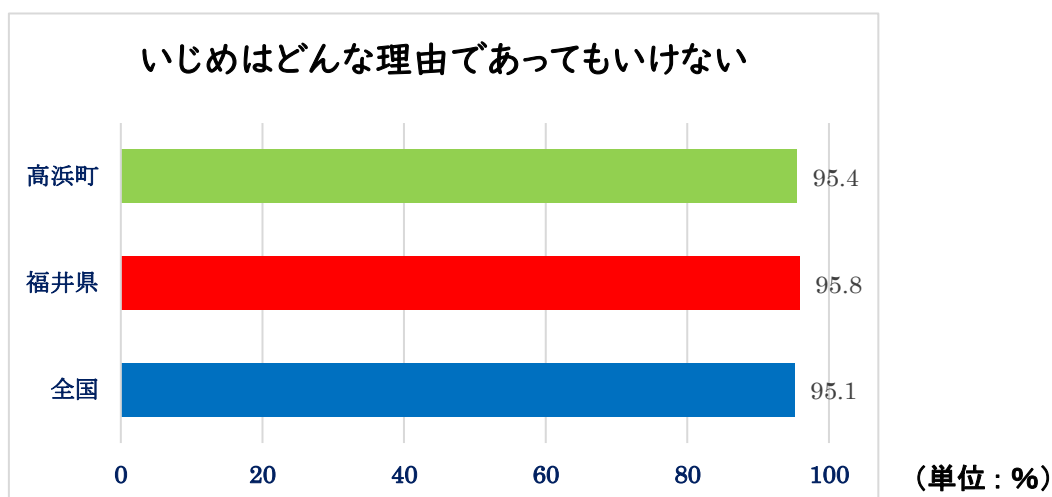
△「学校に行くのは楽しいですか」という問いに「楽しい」と答えた割合は、全国平均も県平均も下回っています。学校での生活が小学校、中学校と進んでいくと、楽しいことばかりでなく苦手なことや嫌なこともあると思います。それらをすべて取りまともめても、学校が子どもにとって「来たい場所、楽しい場所」になればいいと思います。



△「自分には、よいところがあると思いますか」という問いに「あると思う」と答えた割合は、全国平均も県平均も下回っています。誰にでも「自分のいいところ」があることに気がついて、自己肯定感を高めて自分を好きになってほしいと思います。



○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という問いに対して「そう思う」と答えた生徒の割合は約95%で、全国平均も県平均も僅差ですが上回っています。全国的な考え方として「いじめはしてはいけない」という思いが根底にあるようです。高浜町では教科学習などの他に人権学習も重点的に実施しており、その学習の長年の積み重ねの結果が表れたのではないのでしょうか。



保護者のみなさまへ ～ ご協力をお願いします ～

- 学校での出来事など、子どもの話に耳を傾けて聞きましょう。
- 明日の予定などを話題にし、見通しをもって生活するよう意識づけしましょう。
- 自分からすすんで勉強できる環境づくりをしましょう。
- 家族で新聞や本を読んで、世界や日本で起こっている出来事に興味をもちましょう。
- パソコン等でのSNSや動画視聴、ゲームの利用のルールを決めましょう。

正しい生活習慣を身につけ、自分の行動を自分で律する力をつける事が、学力向上につながります。

